

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [福祉祭補助事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業番号	15			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進		課	庶務	係	課長名	嶋田 淳				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進							総合計画書 (ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				参加団体数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
福祉に対する理解を深めることにより、地域福祉を推進する。				福祉祭収益金 ・市補助金(464,000円) ・主催者負担金(700,000円)							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
住民相互が助け合い、市民が地域福祉に理解と関心を持つため、福祉祭に係る費用の一部を補助するとともに、開催にあたり協力する。				補助金額							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	団体	46	47	46					
	成果指標	②の数値	円	1,164,000	1,164,000	1,164,000					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方 社会福祉協議会が収益する福祉祭における収益金額。									
活動指標	③の数値	円	464,000	464,000	464,000						
3 経費	事業費(実績)		円	464,000	464,000	464,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	464,000	464,000	464,000					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	1,289,300	1,288,400	1,295,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化 昭和48年に福祉祭の前身である福祉バザーを社会福祉協議会と民生委員・児童委員協議会と共催で開催した。昭和53年に名称を福祉祭に改め、社会福祉協議会と東大和市との共催となった。昭和56年には市の四大祭となった。平成9年から社会福祉協議会主催・東大和市が後援の形となった。現在は、実行委員会が主体となって実施している。収益は減少しているが、多くの市民・団体が活発に参加している。										

事業名称	東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [福祉祭補助事業]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 嶋田 淳

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 産業まつりと合同開催にしてはどうかとの意見がある。 福祉団体や社会奉仕団体の活動により、広く市民へ地域福祉に対する理解と協力を広げている。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤・⑥			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 安全面の強化及び主催者側との連携が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 地域福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 社会福祉協議会があくまでも実施する福祉祭であるが、市としても実施にあたり敷地等を貸与していることから、十分な連絡体制を築く必要がある。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	綿密な連絡体制の構築。				